

守ろう！ 暮らし 平和 環境

みなさんと力合わせ実現します



港区立芝公園の平和の灯

★平和の灯は共産党区議団の提案で設置されたものです。

給食費 無償化

特別支援学校、 アレルギー等で お弁当持参にも拡大!!

日本共産党区議団は、区立小・中学校の給食費の無償化と併せて、特別支援学校に通う児童・生徒の給食費も助成するように提案してきました。その結果、今議会に「特別支援学校等給食費負担軽減」として736万3千円の「補正予算」が組まれました。

補正予算は12月8日の本会議で、全会一致で可決成立しました。9月に遡って支給されます。特別支援学校の152人、お弁当持参の33人に支給されます。

私立やインターナショナルスクールへの 支給を提案

私立学校などへの助成は、すでに中野区、墨田区、新宿区で実施を決めています。区民であれば、どこに通っていても助成するように、引き続き頑張ります。

11月29～12月8日

第4回定例会にて 福島宏子区議が 質問しました



1. 国民生活を守るなら消費税減税を国に要請すること
2. 年末年始の相談窓口を設置すること
3. AEDの設置（青パト車両や区有施設）を区民に知らせること
4. 防災用品の低価格でのあっせんを5年に1度にすること
5. 区の取り組みに自衛隊ブースを設けないこと
6. 羽田新飛行ルートに住民説明会の早期開催を国交省に求めること
7. 長寿を祝う寿商品券はお祝い金も選択肢に入れること
8. 精神障害者手帳の速やかな交付を東京都に要請すること
9. 介護保険制度の改悪をしないよう国に要請すること
10. 国民健康保険料を引き下げること
11. 18歳までのインフルエンザ予防接種助成額を引き上げること
12. 神宮外苑再開発の事業者、東京都に関係者との意見交換の場を設定するよう要請すること
13. 私立・国立学校、インターナショナルスクールに給食費無償化を拡大すること



詳細はコチラ

議員、区長など 給料等を引き上げ

区民生活が大変な時、引き上げるな 共産党は反対

「港区特別職報酬審議会」からの答申に基づき、議員報酬、特別職の給料と期末手当（0.1か月分）を引き上げる条例が提案されました。自民党、未来会議、政策会議、公明党、参政党の会の賛成多数で可決されました。（表参照）

共産党区議団は、賃金がピーク時より年64万円も減少。「社会保障のため」だった消費税。増税のたびに社会保障は貧しくなり、高学費で若者が背負わされる借金は10兆円。年金は減る一方、生活保護費も引き下げられています。区民がこんなに大

変な時に、引き上げるべきではないと、反対しました。

報酬・給与

区分	改定後の月額	現行の月額	引上げ額
区長	126万1,700円	124万9,500円	12,200円
議長	91万1,400円	90万2,600円	8,800円
議員	61万6,700円	61万700円	6,000円

2024

困ったときは
すぐ相談を
弁護士と区議会議員が
ご相談に応じます

☎ 03-3578-2945



保健福祉常任委員
交通等対策特別委員長
議員団幹事長
区議2期
福島 宏子



建設常任委員
防災・危機管理等安全対策
特別委員
議員団長
区議10期
風見 利男

ホームページも
ご覧ください



出産時の

産前産後
期間相当分
(4ヶ月分)

国民健康保険料が免除 されます!

届け出後、減額分が
還付される仕組みです。

2024年1月1日から、出産予定月の1ヶ月前から計4か月分の国保料が免除になります。(多胎児の場合は出産予定日の3ヶ月前から計6ヶ月分)すでに国保以外の社会保険等では2014年から「産休期間」は免除になっています。10年間も放置されてきた国保がやっと追いついたわけです。

例えば、2023年の11月に出産した方は、2024年1月分のみ免除されます。

届け出が
必要です。

必要書類 届出書・国民健康
保険証・マイナンバー確認書
類・本人確認書類・母子健康手帳

出産予定日の6ヶ月前から届け出が出来ます。出産後の届け出も可能です。

問合せ先 国保年金課 03-3578-2574

18歳までのインフルエンザ予防接種助成額 3,000円から5,000円に増額を求めました

爆発的な流行が今後も続くと思われるインフルエンザ。港区でも学級閉鎖が後を絶ちません。18歳までの予防接種費用全額公費負担を求めたところ、区長は「区内の接種費用を調査し、自己負担がほとんど生じないように助成額を決定している。」と答弁。しかし、3,000円で賄えるなどともありません。自己負担が生じないようにというのであれば助成額を5,000円に引き上げるべきです。「価格変動などの実態を調査し、来年度の助成額への反映を検討する。」との答弁を引き出しました。

LINEでも
配信
されます!

出産・
子育て応援
メール対象年齢が
7歳までに
拡大!

区では2016年から妊娠4週目から3歳までの登録した家庭に行政サービスなど配信しています。来年度中に対象を7歳までに段階的に拡大していきます。

● 問合せ

子ども家庭支援センター
03-5962-7204

区立
保育園

乳幼児突然死症候群 (SIDS) 等 予防のため『センサー内蔵マット』を購入

保育園の昼寝時、呼吸や心拍、体動を検知するセンサー付きマットを購入します。0歳児クラス分約474枚の補正予算が可決しました。



病児保育事業が拡大されます

港区では現在、5施設で病児保育事業を実施しています。 ※一覧表参照

病児保育室一覧 (令和5年11月1日現在)

赤坂山王病児保育室	港区赤坂4-1-26 3階	4人
愛育クリニック附属あいいく病児保育室	港区南麻布5-6-8	4人
チャイルドケアばんびいに病児保育室	港区白金台3-16-8 2階	6人
とよら小児科附属ひまわり保育室	港区芝浦3-11-5 2階	6人
芝浦こどもクリニック附属芝浦病児保育室	港区芝浦4-20-4	4人
合計		24人

昨年度、利用を希望したにもかかわらずできなかった方が1,774件あり、来年1月から『チャイルドケアばんびいに』の定員を1日6人から8人に拡大します。(年間延べ500人程度の受け入れ枠が拡大されます。)

問合せ: 保育課 03-3578-2465

『ショートステイに おける予約システムに関する請願』

共産・参政は採択を主張。
自民・みらい・公明・維新が継続。

現在、障害保健福祉センター(ヒューマンぷらざ)のショートステイは7部屋。利用月の2ヶ月前の月初に電話と専用アプリで一斉に予約するのですが、1ヶ月分の予約が10分で埋まってしまう状況です。

請願者は20年前から利用していますが、「早い者勝ちでよいのか?」「区が提案する入れ替え制は利用者の意見が尊重されていない」と改善を求めました。担当課長は「入れ替え制に固執しない」「利用者の意見を反映しながら少なくとも来年度から改善できるよう検討していく」と答弁。にもかかわらず、多数により「継続」となりました。必要な人が必要な時に利用できるよう引き続き改善を求めます。